

平成 28 年度第 3 回佐世保市地域公共交通活性化協議会 議事録

場所：佐世保市役所 5 階 庁議室

時間：平成 29 年 3 月 27 日（月）13:30～15:00

（事務局：森）

定刻となりましたので、ただいまから平成 28 年度第 3 回佐世保市地域公共交通活性化協議会を開会いたします。本日は年度末のお忙しい中お集まりいただきましてありがとうございます。私は、本協議会事務局で佐世保市地域政策課の森と申します。進行役を務めさせていただきますのでよろしくお願いいたします。

協議会の開催にあたり、会の成立要件の確認ですが、協議会規約第 7 条第 2 項に「構成員の過半数以上の出席により成立する」とあります。本日は、委員 21 名のうち、代理出席も含めて 16 名のご出席を頂き、協議会の成立要件を満たしていることをご報告いたします。

また、委員の交代をお知らせいたします。タクシー協会の副会長でいらっしゃいます、川口様でございます。本日より委員としてご就任いただいております、監査役もお引き受けいただいております。今後ともよろしくお願いいたします。

なお、長崎県立大学の石川委員ですが、本日は欠席となっておりますが、3 月末をもって退官されるということで、皆様にもよろしくお伝えいただきたいとのことでありました。本協議会立ち上げ当初より学識経験者というお立場からの貴重な意見をいただき、大変感謝申し上げます。現在、平成 29 年度からの新たな委員の推薦をお願いしているところで

す。

また、オブザーバーとして、九州運輸局前川交通企画課長様、帆足主席運輸企画専門官様、三根主席運輸企画専門官様のご出席をいただいております。

本日の議題は、お手元の会次第にありますように 3 つございます。特に 1 つ目はボリュームが大きくなってございますが、前回、中間報告をさせていただいております、バス運行体制の一体化調査が 12 月末で終了しましたので、その結果を報告させていただきます。そのほかの議題につきましても報告いたしますので、ご承認をいただければと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

なお、本日の会議は、協議会規約第 7 条第 4 条に基づき、公開とさせていただきたいと思っておりますので、ご了承くださいませようお願いします。

それでは協議会を開催するにあたって、はじめに本協議会の会長である佐世保市の朝長市長がご挨拶申し上げます。

(朝長市長)

本日は年度末のお忙しい中にも関わらず、平成 28 年度第 3 回佐世保市地域公共交通活性化協議会へご出席を賜り、誠にありがとうございます。また、日頃から本市の市政推進へご理解とご協力を賜り、この場をお借りしまして厚くお礼を申し上げます。

始めに、本協議会の皆様にご報告させていただきます。今年度行いましたバスの運行体制の一体化調査結果を踏まえまして、将来に渡り持続可能なバス事業の継続が必要となり、さらに議会を始め、住民の皆様からのご意見、ご懸念、ご心配に対処できる最適な運行体制は、「交通局を廃止し、させばバスが一部路線の受託運行を担い、西肥自動車に路線を集約する」という方針に至ったところです。

このことは、本協議会における調査事業の中で、持続可能なバス路線の再編について問題提起があったことが契機となっております。現行の運行体制のままでは問題解決に至らないこと、そのため、抜本的な運行体制一体化の検討をすべきである、ということをございました。

皆様には、委員及び幹事、オブザーバーというお立場から、これまで関わっていただきましたことに、感謝申し上げます。

また、今後の佐世保市のバス路線維持という重責を担っていただく西肥自動車様におかれましては、平成 29 年度から協議の席に就いていただくことのできることを了承をいただきましたことにも、改めまして、感謝申し上げますとともに、今後の協議会が順調に進むようにご協力をお願いしたいと思っております。

今後とも協議会の皆様には、協議の状況を適宜ご報告し、ご意見、ご助言を賜りたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

また、本日は、本協議会で進捗管理を行っております佐世保市地域公共交通網形成計画の状況等につきましても、本市の公共交通機関を考えるうえでの、自由な忌憚のないご意見を頂戴したいと思っております。

結びとなりますが、委員の皆様方のご健勝、ご活躍を心から祈念申し上げまして、本日のあいさつといたします。

(事務局：森)

ありがとうございました。それでは、ここからは朝長会長に進行をお願いしたいと思います。朝長会長、よろしくお願いいたします。

(朝長会長)

それではこれより議事に入ります。バス運行体制の一体化調査結果および市の方針についての報告をお願いします。

※バス運行体制の一体化調査結果報告（省略）

(朝長会長)

ありがとうございました。冒頭のあいさつのなかでも述べさせていただきました、市の方針に至った説明でございました。ご不明な点や確認したい点、あるいは今後協議を進めていくにあたってのご意見、ご助言、ご懸念等何でも構いません。ご発言をお願いします。

(西肥自動車：川口委員)

先ほどから説明があつておりますように、将来にわたって持続可能なバスネットワークの構築や路線の維持に関しまして、弊社が中心となって担っていくという重責を改めて強く感じております。利便性を重視したバス運行体制の一体化というバス事業実現に向けて、運転手確保や労働環境の改善など課題もありますが、これからの佐世保市との協議に、真摯に全力で取り組んでいく所存でございますので、本日ご出席の皆様におかれましても、ご支援、ご協力をぜひよろしくお願いいたします。

(交通局：田崎委員)

この事業そのものが、将来的にどうやって公共交通を繋いでいくかという見地のもとで進められました。結果についてはご説明があつた通りです。ただ、パブリックコメントや地元説明会等では、さまざまなご意見をいただいております。今回の3月議会で、佐世保市の方向性として、市長が市政方針で述べられました。

次年度からは、正式にパブリックコメント、地元説明会等のご懸念等々を、佐世保市が中心となって、バス事業者の間に立ち、どうやってクリアしていくかということについて議論を深めていくこととなります。

私どもは最終的に除かれることとなりますが、我々も90年間の歩みを続けてきたので、これまでの経験を、その後の形に生かしていきたいと思っております。

(させぼバス：本山委員)

まず、今回の市の方針において、私どもさせぼバスが関わっていくことに、心からお礼を申し上げます。

弊社は、8年前に自社車両6台でスタートいたしました。現在は自社車両が増えまして、市営バスの7割以上を担わせていただいている状況です。懸念の1つである、人材確保、運転手確保という観点からも、弊社は市内バス路線運行に必要とされていると考えております。親会社の交通局が廃止になるのは、本当に残念ですが、交通局の精神、教えを守って、改めてしっかりとした体制を作っていきたいと思っております。どうぞ皆様方の変わらぬご支援をいただきますよう、よろしくお願い致します。

(朝長会長)

では、2つ目の佐世保市地域公共交通網形成計画の進捗状況をお願いします。

※事務局説明（省略）

（朝長会長）

ありがとうございました。ご不明な点や確認したい点等ございませんでしょうか。

（九州運輸局：前川オブザーバー）

前回の会議で、公共交通の利用促進に関して色々ご意見をいただきました。他の都市で色々な利用促進の取り組みが進められておりますので、それを紹介させていただき、今後の参考にしていただきたいと思います、資料をお配りしておりますのでご覧ください。

※他都市の利用促進の事例紹介（省略）

（朝長会長）

色々な事例の紹介、ありがとうございました。今後このような事例を活用しながら進めていくことが必要だと思います。

他にございませんか。

（田中都市整備部長）

事務局に今後のことについてお尋ねです。

本来、地域公共交通網形成計画については、都市計画のマスタープランの都市構想を基に反映していただいていると理解しているのですが、理想的なことを言いますと、地域公共交通の再生と都市再生、いわゆる立地適正化計画といって、人口減少に見合ったような居住誘導や都市機能の誘導を図っていく、立地適正化計画とセットが一番理想的だったのですが、地域公共交通のほうが先行的にまとまりつつあるという中で、今後都市整備でも 29 年度から調査に入り、平成 30、31 年度に都市マスタープランの見直し、人口減少によるコンパクト化ということで、どういったところに居住誘導を図っていくのか、そういった検討を行うので、出来ればこういった公共交通の活性化を考えると、公共交通の幹線道路沿いに居住誘導をする、交通の結節点の核に居住誘導をしたほうが公共交通の活性化にも繋がりますので、後付けになりますが、今後連携していきたいと思います。

今後、我々の計画を協議会でお諮りしながら連携をしていきたいと思っているが、この協議会自体は形成計画や見直しなど、こちらの業務に合わせて若干検証し直すなど、対応できるものなのか教えていただけますか。

（事務局：中西）

この形成計画は 31 年度までになっています。都市計画のマスタープランの見直しが、30、31 年度とおっしゃったので、タイミングはいいと考えています。

計画期間中でありましても、今はまだバスの再編は反映しておりません。というのは、今取

り組みを始めたところで、このバスの再編につきましても、形成計画にはっきりとした書き込みができる時期になりましたら、形成計画自体の更新をする必要があるということで、適宜見直すように国からも言われております。この上位計画は都市マスタープラン、その上が総合計画という理解でおりますので、こちらとしましては、進捗を見ながら適宜変更を考えています。

(子育て支援団体ママパパ：吉田委員)

ママパパの編集部にも2回ほどバス、電車を愛する子育て中のお母さん方に来ていただき、今まで声をあげたかったが、そのような機会がなかった中で、子育て視点の声を聴いてくださるこの機会を作っていただき、本当にありがとうございますというのが皆さんのご意見です。ベビーカーはどうやって載せればいいのか、介護をされていて車いすの乗せ方はどうしたらいいのかといった、素朴な質問から答えてくださり、今後も色々と考えていきたいと思います。では私たちには何ができるのか、市民として行政や事業者に頼るだけではなく、何か発信できないか、自分たちに何ができるのかを考えるいい機会になると思います。今後とも子育て世代の意見を聞いていただき、安心安全の佐世保市、そして国土交通省の資料に載せていただけるように頑張ってくださいと思っています。よろしくお願いします。

(朝長会長)

次に、平成29年度協議会予算及びスケジュールについて説明をお願いします。

※事務局説明(省略)

(朝長会長)

ありがとうございました。予算とスケジュールの説明で、ご不明な点や確認したい点等ございませんか。

《質問等なし》

ないようですので、事務局の説明通り、29年度の予算及びスケジュールについてご承認をいただいたということでよろしいでしょうか

《はい》

ありがとうございました。来年度はいよいよバス再編に向けた具体的な取り組みに着手することとなります。特にバスのダイヤや系統整理等、国の認定が必要となる再編計画の作成においては、国のご指導をいただく必要がございますので、今後、ますますの強力なバックアップをお願いいたします。

最後に、オブザーバーであります九州運輸局前川交通企画課長様、帆足主席運輸企画専門官様、三根主席運輸企画専門官様から、それぞれお気づきの点やアドバイス等いただけたらと思いますので、よろしくお願いします。

(九州運輸局：前川オブザーバー)

本日の会議で、バスの運行体制一体化の方向性が見えてきたところで、これから具体的にどの路線をどういう運行本数にするのか、路線をどう見直すのか、ということが第2弾となってくると思います。検討を進めていくにあたって、それぞれの地域の需要や、利用者とバス事業者がしっかりと議論する場を設定して、現在の利用状況がどうなっているのかということを見せながら、これからバスの経営を維持していくためにはどうということをしていかなければならないのか、そういったことを路線ごとにしっかり話しをしていただくということが、地域の皆様方にとって親しみやすい、また利用しやすい公共交通を作っていくことになると思いますので、これからはいろいろな意見が出てくると思いますが、しっかりと議論をしたうえで再編の実施計画を作っていただければと思いますので、よろしくお願いいたします。

(長崎運輸支局：帆足オブザーバー)

長崎運輸支局としましては、佐世保市と寄り添った形で、今後、フォローさせていただきたいと思っております。

昨年からの協議会に参加させていただいて感じていることは、他の協議会と違い、利用者代表や事業者など委員の皆様から意見が出ているということで、他の協議会の見本となる協議会だったと思っております。先ほど吉田委員が言われたように佐世保市の再編が何年か後に先駆的な事例として載るであろうと確信しておりますので、市長のリーダーシップのもと事務局の方も頑張らせていただきたいと思います。本日はどうもありがとうございました。

(長崎運輸支局：三根オブザーバー)

今回の提案に関しましては、苦渋の判断の中で佐世保市がこの方針の決定をされたということで、アンケートの中でも、理由は分かるが長年愛されてきている佐世保市交通局がなくなることが寂しいということなのかと感じております。そういった中で、佐世保市は今後色んなフォローをしていきます、検討の内容も公表していきます、という計画をお持ちになっているようです。大変大事なことだと思っております。丁寧に中身を公表しながら進めていただきたいと思います、そのうえで、私も運輸支局としましても、市が主体的に関与される内容を側面的にバックアップして参りたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

(朝長会長)

ありがとうございました。他にございませんか。

それでは、本日はお忙しい中、ご参加いただきましてありがとうございました。

では、私から事務局へお返しいたします。

(事務局：森)

皆様大変お疲れ様でした。

なお、本協議会の事務局を担っております、地域政策課の公共交通推進室は、今後、より積極的に公共交通の政策に取り組むということで、4月1日から名称を地域交通課と名称も改め、独立をいたします。

それでは、これもちまして本日の平成 28 年度第 3 回佐世保市地域公共交通活性化協議会を終了させていただきます。ありがとうございました。

(終 了)